

35 歳時の全身症状と離職を経て皮膚状態が安定した成人アトピーの経過 (39 歳 成人)

症例 ID：001-30-OY7 | 記録日：2017 年 1 月 1 日

1. 診断・治療前経過

幼少期から数年おきに冬季の悪化と春の軽減を繰り返していました。幼少期に少量の外用薬を使用した記憶がありますが、その後は特に治療をせず経過をみていました。

35 歳の春から、これまでで最も強いアトピー症状が全身に出て、勤務を続けられず退職しました。各地の医療機関で複数の治療を受けましたが、十分な改善は得られませんでした。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期に外用薬を少量使用した記憶があります。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼少期に短期間と考えられますが、詳細は不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～	反復経過	数年おきに冬季悪化と春季軽減を繰り返しました。
35 歳春	全身悪化	全身に強い症状が出て、勤務を続けられず退職しました。
その後	複数治療	各地の医療機関で複数の治療を受けました。
松本医院受診後	治療開始	外用薬、内服、漢方入浴を開始しました。
治療約 6 か月後	大きな変化	皮膚状態は大きく整いました。
約 2 年後	経過後	治療 6 か月後と同程度の安定した皮膚状態を維持していました。

4. ピーク時期

ピークは、35 歳の春から全身に強い症状が続き、勤務を継続できず退職した時期です。

5. 困りごと

- 全身症状により就労継続が困難となりました。
- 各地の医療機関を受診し、複数の治療を試す必要がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の下腿皮膚の状態。



症状が強い時期の下腿皮膚の状態。

7. 経過のまとめ

治療開始から約6か月後には皮膚状態が大きく整い、その後約2年の記録時点でも安定した状態を維持していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。